

11月10日 「第5回 くぬぎの森づくり」 開催！



澄み切った秋空のもと、15組 55名が参加。

開催するにあたり、8月には植樹場所の草刈り、9月には常緑低木や枯れた木の除伐、10月には除伐した木のチップ処理、11月に入って看板、名札、焼き芋の準備、講義に使うパワーポイントや資料の作成など、約3カ月かけて里山の風景が戻ってきているのを楽しみながら、予定地の整備を行ってきた。準備のかいもあり、参加者は、植樹の大切さを知り、モリメイトと一緒にクヌギの苗木を丁寧に植えていた。



- 木に付ける名札に名前やカットを書く
- 初めのあいさつ・今日の予定を聞く
- パワーポイントで
ドングリの話やクヌギの苗の育て方
について話を聞く



○ 植樹の仕方・ネットのかけ方の説明を聞く

苗木は、公園内で拾ったどんぐりを参加者とモリメイトが植えて、1~2年間育てたものである。小さな子どもたちも植樹の仕方を真剣に聞いていた。



幼齢木ネットは、トウモロコシからできていて、10年くらいで朽ちて自然に帰るということ、苗木が鹿に食べられないようにつけるということを業者さんから聞き、ネットのかけ方を教わった。



○ 植樹する

さあ！植えるよー！
どこに植えようかな



シカに食べられ
ませんように

おとうさん
これでいい？



大きく育ててね



○ くぬぎのどんぐりを植える

来年の苗木を作るため、ポリポットに「カブトムシの森」の腐葉土を入れ、どんぐりを植えた

○ 焼き芋を食べる

アンケートを書いた後、職員とモリメイトで焼いたほくほくの焼き芋を食べた。



やきいも
おいしいね

植樹後のアンケートには

- ・モリメイトさんたちが丁寧に教えてくれたので小さな子も楽しんで植樹することができました。
 - ・どんぐりの話が聞けてためになりました。
 - ・普段できない植樹を体験できてよかったです。
 - ・2回目の参加でしたが去年植樹した木の成長を見ることができてよかったです。今年植えた木を来年見るのも楽しみです。
- などの感想が書かれていた。

「苗木を育てて来年持ってくるよ。」と焼き芋を食べながら話してくれた小学生。続けることの大切さを改めて感じた。

